

2024年度(総合型選抜)AO選抜入学試験
スポーツ健康科学部「CREA方式 課題発見・解決型」

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
スポーツ健康科学科	62	17	10

(2) 本入学試験の目的

スポーツ健康科学部は、スポーツ健康科学の教育・研究における智の融合を通して、人々の健康、幸福な社会、ならびに平和な世界を創造するとともに、志高く未来を拓く人材を育成することを目的としている。

CREA方式課題発見・解決型入学試験の目的は下記を確認することである。

- ①スポーツ健康科学部の人材育成のビジョンである「CREA」やアドミッション・ポリシーを理解した上で、強い学習意欲を有し、主体的に挑戦する意志を持っているか。
- ②高等学校において探求型学習に熱心に取り組んだ経験を踏まえ、社会における課題を独自の視点で捉え、それを解決するための具体的なアイデアを他者に対して論理的かつ魅力的に説明する力や行動に移す力に優れているか。

2. 試験内容

(1) 第1次選考

第1次選考では、エントリーシート、課題論文の内容に基づいて総合的な評価を行った。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者を対象に、第2次選考を行った。第2次選考では、①プレゼンテーション（10分間）および②個人面接（約15分間）を行った。①に関しては、出願書類の受付後に課題内容を郵送し、第2次選考の当日までに資料（パワーポイント用スライド）を作成した上で、プレゼンテーションを実施した。

3. 出題の意図

(1) 第1次選考

課題論文におけるテーマは、「あなたがこれまでに取り組んできた課題発見・解決の取り組みを1つ紹介し、その取り組みがあなた以外の人たちにとって、どのような意味や成果をもたらしたのか、またその取り組みがあなた自身の成長にどのようにつながったのかについて説明しなさい」とした。課題論文では、課題発見・解決に関わるこれまでの取り組み姿勢やその内容、行動力などを確認することを目的とした。また、エントリーシートでは、立命館大学スポーツ健康科学部を志望する理由や学びたい内容を確認した。

(2) 第2次選考

①プレゼンテーション

課題発見・解決型の素養を活用し、社会における課題を独自の視点で捉え、それを解決するための具体的な方策を他者に対して魅力的に提案する能力を評価することを目的とした。

②個人面接

立命館大学スポーツ健康科学部を志望する理由、これまでの活動や経験、入学後にスポーツ健康科学部で学びたい分野やテーマについて、将来の展望を評価するために個人面接を実施した。

4. 評価のポイント

(1) 第1次選考

第1次選考では出願書類に基づいて総合的な評価を行った。エントリーシートでは立命館大学を志望する理由と、入学後にスポーツ健康科学部で学びたい分野やテーマについて、明瞭かつ具体的な記載がされているか否かを特に重視した。また、課題論文では、高等学校における課題発見・解決に関わる取り組みの内容に加え、それらが他者や自身に及ぼした影響が明瞭かつ具体的に記載されているか否かを重視した。

(2) 第2次選考

プレゼンテーションについては、作成した資料の論理性、明瞭性、信頼性、伝え方を重視して評価した。また、個人面接では、質問に対する回答、志望動機・学習意欲、入学後・将来の展望などを明瞭に伝えられているか否かを評価した。

5. 解答状況

(1) 第1次選考

エントリーシートでは、スポーツ健康科学部のアドミッション・ポリシーおよび本AO入試の目的を理解し、「立命館大学スポーツ健康科学部を志望する理由と、入学後にスポーツ健康科学部で学びたい分野やテーマについて」明瞭かつ具体的に記載されているかについて、志願者間で差がみられた。また、課題論文では、これまでに経験した課題解決・発見の取り組みが独自性に欠け、一般的な内容に留まっている例もみられた。特に、課題解決・発見の取り組みが他者や自身に及ぼす影響を明確に述べている論文が少なかった。

(2) 第2次選考

プレゼンテーションに使用するスライド内容の論理性、伝え方に志願者間で差がみられた。特に、伝え方に関しては、聞き手を意識し、表現力豊かに自身のアイデアを提案できている志願者がみられた一方で、印象的な伝え方に至らなかった志願者もみられた。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

学部ホームページやパンフレットを確認するだけでなく、オープンキャンパスや各種説明会に参加し、スポーツ健康科学部への入学後に挑戦したい内容を具体的にイメージして頂きたい。また、日頃から、社会における課題や問題に対して注意を払い、それらの解決策を考える習慣を身につけて頂きたい。

以上